

2022 年度 京都女子大学大学院法学研究科（修士課程）法学専攻（春季）専門科目試験問題「刑法」

甲は、A を殺すつもりで匕首を購入し、ある日、A に久しぶりに一緒に飲もうという誘いの電話をかけて、居酒屋に A を連れ出し、A と一緒に飲酒するうち、泥酔状態となり、その泥酔状態で計画通り、A を刺殺しようと思っていたが、あまりの泥酔のために眠くなり、眠り込んでしまった。甲が目を醒ました時には、A はすでに帰宅していた。この場合、甲に殺人未遂罪は成立するか。とくに殺人罪の実行の着手時期について論じなさい。